



学校だより

2学期がはじまりました。来年度の準備を始めています。

この9月号では、学校評価「日々の授業における指導や教材は、児童・生徒の実態に合っていますか」において、これまで多くの御意見をいただいている授業づくりの取組そして、日ごろから備えが必要な防災に関する記事を紹介します。

1 本校の3年間の校内研究について

ここでは、「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説総則編（幼稚部・小学部・中学部）平成30年3月文部科学省197・198 ページ」に示された①～③の視点でこれまでの取組を紹介します。本校での3年間の研究成果を来年度の授業へ反映していきます。

①評価の資料を収集し、検討すること

・令和4年度 生活単元学習※1の授業を見える化し授業づくりの考え方を共有

※1 例「どうぶはくぶつかんにいこう」「お店屋さんごっこ」「江戸から東京へ～校外学習へ行こう～」など

・令和5・6年度 国語、算数・数学、音楽、図画工作・美術、体育・保健体育、作業学習の授業を学習指導要領と突き合わせて根拠に基づいた指導の確認

②整理した問題点を検討し、原因と背景を明らかにすること

・令和4年度、令和5・6年度の研究の関連付け それぞれの指導の目標・内容が学習指導要領そして児童・生徒の実態に合っているか等の点検、改善点の抽出

例 生活単元学習において、子供に身に付けてほしい目標・内容が、基となる国語や算数等の教科の目標・内容と関連しているのかなどを整理し、来年度の授業づくりへ反映

③改善案をつくり、実施すること

・生活単元学習という教科は実は存在していません。そこで例えば個別指導計画では、生活単元学習の内容を国語や算数等の教科の「指導の手立て」で示すことが、学習指導要領、児童・生徒の実態に基づいた授業づくりになるのではないかなどを検討していきます。

2 防災に関する記事について（詳細は「防災ノート～災害と安全～中学校版」P.11等を御覧ください）。

大地震（だいじしん）が起（お）こったら



地震発生直後の瞬間

最優先で自分の命を守る。

頭を守るために机が動かないように脚をしっかりと持ちましょう。

地震直後の行動

揺れがおさまってから行動する。

火元を確認する。

出口を確保する。

